

||斜角門形®カルバートの特長||

道路と道路や道路と水路が交差する場合、その交差角が直角以外の、いわゆる斜角となる場合が圧倒的です。しかし、従来の斜角製品は正角製品を切断するか、角度毎に新しく型枠を製作する方法をとってきましたが、著しく割高となる難点がありました。ここに独自の斜角製品製造技術(特許申請中)の確立により、経済的にこの難点を克服することが可能となりました。

私共は、国土の地形・環境に融和する本「斜角技術」に更なる研鑽を積み、皆様のご要望に応じてまいります。

◆施工が早い

斜角門形カルバートは《かぶせる》だけなので、通常の現場であれば、20分/1個のペースでの敷設が可能であり、カルバート工法としては、異例の施工スピードの向上が図れます。

◆斜角度が自由に設定可能

独自の斜角製品製造技術により、水路と交差する道路との交差角を90度～58度まで自由に設定できます。

また、道路設計時には用地を有効活用でき、道路設計計画時における線形の自由度も広がります。

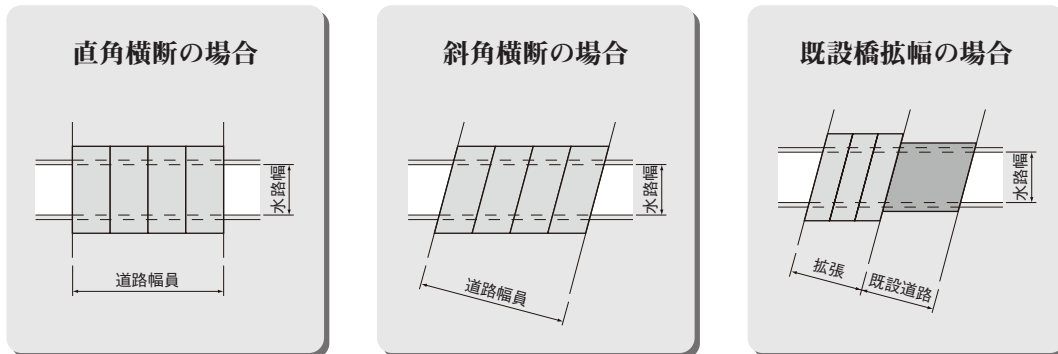
◆多種多様な形状に対応

独自の斜角製品製造技術により、門形、U形、L形を組合わせて、斜角門形カルバート・斜角BOX、拡幅水路(トランジション)、拡幅暗渠(ラップ状BOX)等の製品を提供することが可能です。

◆渇水期に関係なく通年施工が可能

横断部を門形にした場合、既設水路を撤去することなく、水替えせずに施工が可能です。

※平成16年度実績による



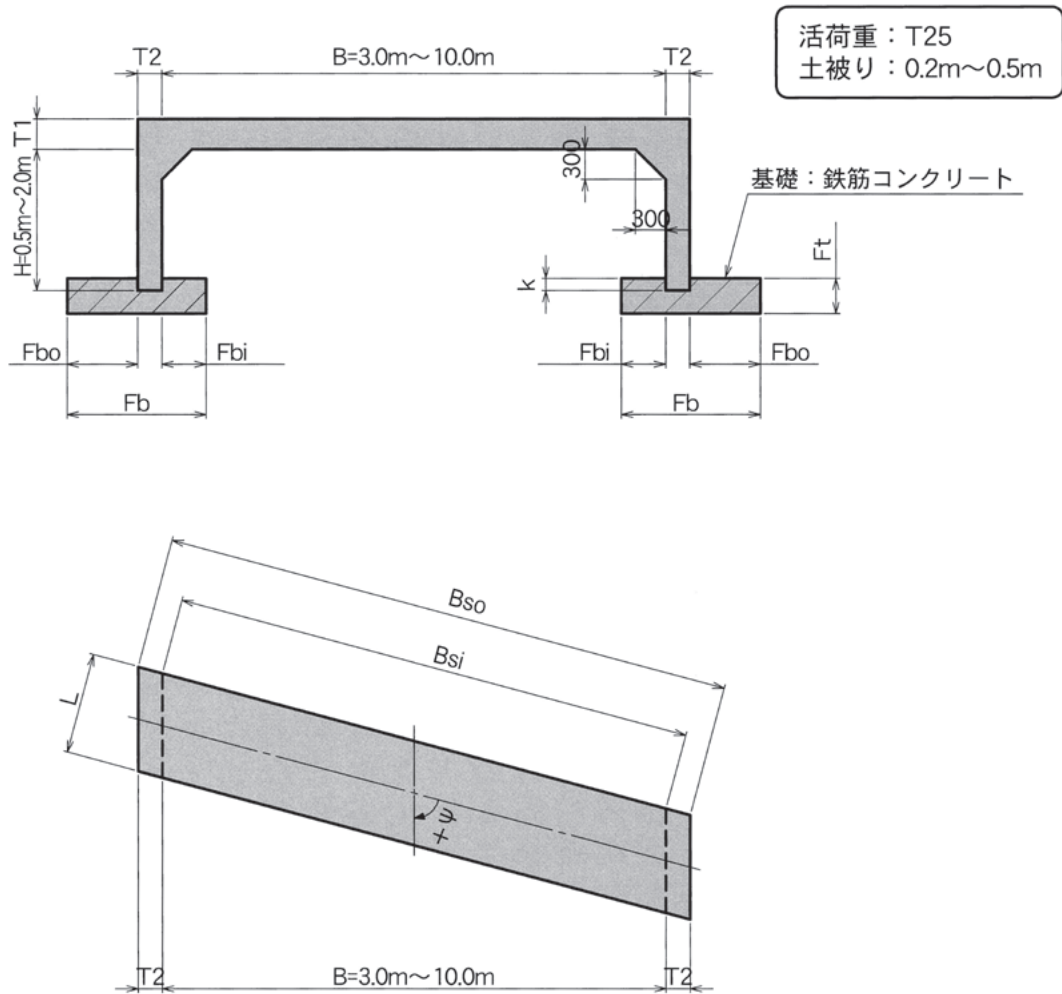
◆道路工事

◆用排水路工事

◆河川工事



製品図



規格表 (mm)

B×H(mm)	斜角度 ψ	部材寸法 (mm)				参考質量 (kg)		参考基礎寸法 (mm)				
		T1	T2	Bsi	Bso	L=1.0m	L=1.5m	Fbi	Fbo	Fb	Ft	k
3,000×1,000	90°	220	200	3,000	3,400	3,095	4,643	300	450	950	300	100
	±75°	220	200	3,106	3,520	3,205	4,807	300	450	950	300	100
	±60°	240	200	3,464	3,926	3,771	5,656	300	450	950	300	100
4,000×1,200	90°	260	200	4,000	4,400	4,285	6,428	380	600	1,180	300	100
	±75°	260	200	4,141	4,555	4,437	6,655	380	600	1,180	300	100
	±60°	280	220	4,619	5,127	5,373	8,060	380	600	1,200	300	100
5,000×1,400	90°	300	240	5,000	5,480	6,015	9,023	440	700	1,380	350	120
	±75°	300	240	5,176	5,673	6,228	9,341	440	700	1,380	350	120
	±60°	340	260	5,774	6,374	7,780	11,669	440	700	1,400	350	120
6,000×1,500	90°	340	260	6,000	6,520	7,717	11,576	500	900	1,660	400	120
	±75°	360	280	6,212	6,791	8,520	12,779	500	900	1,680	400	120
	±60°	380	300	6,928	7,621	10,098	15,147	500	900	1,700	400	120
7,000×1,600	90°	380	300	7,000	7,600	9,845	14,768	600	1,200	2,100	450	150
	±75°	380	300	7,247	7,868	10,193	15,289	600	1,200	2,100	450	150
	±60°	450	340	8,083	8,868	13,378	20,066	600	1,200	2,140	450	150
8,000×1,700	90°	450	340	8,000	8,680	12,880	19,320	700	1,500	2,540	600	150
	±75°	500	380	8,282	9,069	14,914	22,370	700	1,500	2,580	600	150
	±60°	580	440	9,238	10,254	19,447	—	700	1,500	2,640	600	150

注) 表記形状寸法は、代表的なものを明記いたしました。表記以外の形状寸法・設計条件については別途ご相談ください。

1 基礎の設置



所定の基礎を設けます。
配筋は設計書にしたがって、組立ててください。

2 基礎面の高さ調整



基礎面の仕上げり高さをレベルで測定し、プラスチックスペーサー(2mm・5mm・10mm)等で、基礎コンクリート面の高さを調整します。スペーサーの間には、調整モルタルを敷き詰めます。

3 荷降ろし



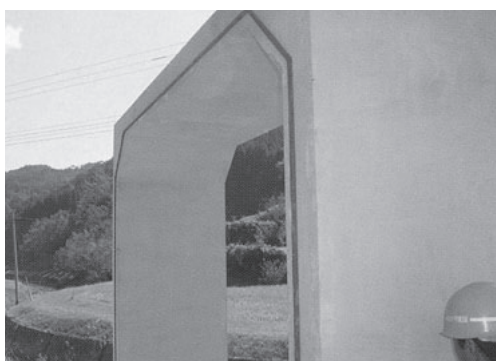
吊上げ金具・ロープが同じ長さであることを確認し、斜角門形カルパートの本体に埋め込まれた治具(デハアンカー)に掛けます。このとき吊り金具の方向が内側になるように組み合わせます。(デハカップラーとワイヤーを使います。)

4 据付(1基目)



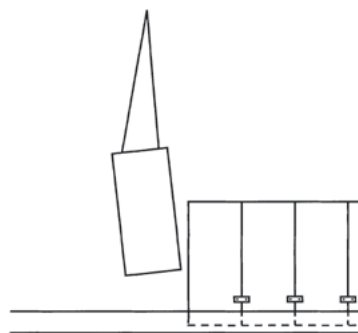
製品の引き寄せは、製品重量の9割程度の荷重でクレーンで吊りながら、バールにて微調整します。
注) 吊り荷(製品)の下に絶対に入らない事。

5 止水ゴムの取り付け



目地部にゴム系接着剤で止水材(水膨張ゴム)を貼り付けます。
(10/20×15H)

6 据付(2基目)



2基目以降は同様に吊り込み、先に据付けした斜角門形カルパートに添わせながら吊り下げます。この場合、取り付けられた止水材が剥離することがあるので、2cmぐらい空けて作業してください。

7

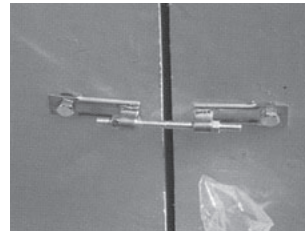
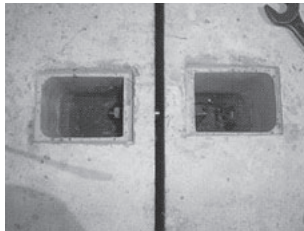
連結金具の取り付け

頂版天端2箇所を連結ボルトにて締め付け、側壁部は、固定金具にて連結します。(標準目地5mm)

◆頂版連結ボルト(2箇所)◆



◆側壁固定金具◆



8

充填作業

据付が完了した後、縦断方向目地(幅5mm)と吊りアンカーの凹部、縦断方向連結部の孔を無収縮モルタル、コーキング材にて充填します。

◆目地部の施工例◆

